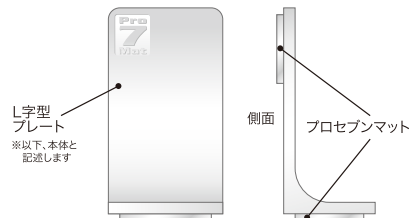


取 り 扱 い 説 明

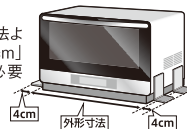
⚠️ 設置・使用上のご注意 設置いただく前に必ずお読みください

●設置面積が不十分な場合(凹凸、格子状、ストライプ状等)、十分な粘着力が得られません。●本製品で物を吊り下げないでください。●本製品は食べられません。●経年変化により変色する場合がありますが、基本性能には問題ありません。●高温(50℃以上)高温湿度(60%以上)の環境では耐用年数が短くなる場合があります。●高温で2時間以上の連続使用は避けてください。●保護フィルムをはがして設置してください。●設置後は粘着を安定させるため、1時間程度は触れないでください。●本製品を使用される設置物のサイズ・重量をよくお確かめください。●設置物の形状により使用できない場合があります。●本製品は、オープンレンジ・電子レンジ等の横滑り・転倒を最小限に抑える商品です。本製品使用により発生した破損事故や、転倒による損害や、責任を負うものではありません。●フッ素加工等、セロハンテープが貼り付かない撥水性のある設置面には取り付けができません。また、水まわりの設置は避けてください。

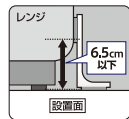
レンジストッパー 各部の説明



① 対象物外形寸法より左右「各+4cm」のスペースが必要です。



② 対象物側面の平らな面が、設置面から6.5cm以下に対応。



設置個数 耐震荷重12kgまで **2個付** 耐震荷重25kgまで **4個付**

取り付け方法① 取り付け補助シートを上引き抜く設置方法

- ① ご使用前に設置場所や対象物側面のゴミ・ホコリ・水・油などをきれいに取り除いてください。設置面が汚れていますと性能が低下することがあります。
 - ② 本体(側面)のプロセブンマットの保護フィルムを剥がします。
 - ③ 取り付け補助シート(斜線部分)のシールを剥がします。
- ※マットと本体の接着部分に気泡が入っている場合がありますが、ご使用には差し支えありません。

- ④ 取り付け補助シートの剥がした面を②のプロセブンマットに図のように貼り付けます。
 - ⑤ 本体(底面)のプロセブンマットの保護フィルムを剥がします。
 - ⑥ 本体を対象物側面横から押し当てながらまっすぐ下へずらし固定します。(12kg以下は左右中央・25kg以下は四隅)
- ⚠️ 排気口等を選び、平らな面に設置してください。

- ⑦ 本体を上から強く押しさえ、設置面にしっかりと固定させます。
- ⑧ 本体側面を押さえながら、取り付け補助シートを上へ引き抜きます。
- ⑨ 本体を横から押しさえ、対象物にしっかりと固定させます。

プロセブンマット® キッチン用

レンジストッパー

震度7対応

商品名	レンジストッパー	材質	本体:ポリカーボネート 粘着マット:ウレタンゲル	耐用年数	5~7年
サイズ	H93×W50×D43mm	適用温度	-20℃~75℃		

※対応年数は使用頻度、使用環境によって短くなる事があります。

取り付け方法② 取り付け補助シートを横引き抜く設置方法

- ① ご使用前に設置場所や対象物側面のゴミ・ホコリ・水・油などをきれいに取り除いてください。設置面が汚れていますと性能が低下することがあります。
 - ② 本体(側面)のプロセブンマットの保護フィルムを剥がします。
 - ③ 取り付け補助シート(斜線部分)のシールを剥がします。
- ※マットと本体の接着部分に気泡が入っている場合がありますが、ご使用には差し支えありません。

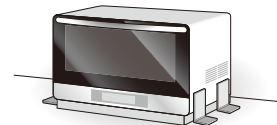
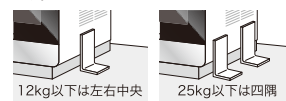
- ④ 取り付け補助シートの剥がした面を②のプロセブンマットに図のように貼り付けます。
 - ⑤ 本体(底面)のプロセブンマットの保護フィルムを剥がします。
 - ⑥ 本体を対象物側面横から押し当てながらまっすぐ下へずらし固定します。(12kg以下は左右中央・25kg以下は四隅)
- ⚠️ 排気口等を選び、平らな面に設置してください。

- ⑦ 本体を上から強く押しさえ、設置面にしっかりと固定させます。
- ⑧ 本体側面を押さえながら、取り付け補助シートを横へ引き抜きます。
- ⑨ 本体を横から押しさえ、対象物にしっかりと固定させます。

- ⑩ 12kg以下は左右中央・25kg以下は四隅に、①~⑨の手順で対象物に設置すれば、完了です。

設置イメージ

設置後は粘着を安定させるため、1時間程度は触れないでください。



取り外し方法

- ① 取り外しカードに水と中性洗剤を塗り込み、本体のプロセブンマットと設置物の間に差し込むとスムーズに取り外せます。
- ② プロセブンマットは粘着力が強力ですので、本体を端からゆっくりとひねるように剥がしてください。急激に剥がすと、設置面が破損する恐れがあります。